

令和 5 年度の取り組み

成年後見制度利用促進に向けた体制整備（中核機関の設置・運営）

1 背景

高齢化の急速な進行等で世帯構成は大きく変化し、高齢者や障がい者の生活を家族で支えることが難しくなっている中、住み慣れた地域で誰もが安心して生活を送ることができる社会の実現を目指し、成年後見制度※の適切な利用を一層促進していく必要があります。そこで、成年後見制度利用促進に向け中核となる機関として、茅ヶ崎市成年後見支援センターを開設します。

※成年後見制度とは、知的障がい・精神障がい・認知症などによって、ひとりで決めることに不安や心配のある方がいろいろな契約や手続をする際に、家庭裁判所から選任された後見人がお手伝いをする制度です

2 事業内容

現在、成年後見制度の周知啓発及び相談機能として、NPO 法人に委託している成年後見支援センター（茅ヶ崎市元町）を令和 5 年 4 月中に市役所内へ移転します。中核機関として成年後見制度の利用促進を図るための機能を強化し、茅ヶ崎市成年後見支援センターとして新たに運営を開始します。

【概要】

場所	茅ヶ崎市茅ヶ崎 1-1-1（市役所分庁舎 1 階）
開設日時	月曜～金曜日（祝日及び 12 月 29 日～1 月 3 日を除く） 9 時～17 時
主な業務	①講演会や研修会などを開催し、成年後見制度を周知・啓発【継続】 市民向け講演会（年 1 回）、出前ミニ講座（随時）など ②成年後見制度の相談対応【強化】 開催日を週 3 日から 5 日に増やし、市民からの相談に対応 必要に応じて土業による専門相談を実施 関係課や関係機関との連携調整を主体的に行う職員を配置 ③後見の申立支援【強化】 開催日を週 3 日から 5 日に増やし、市民からの相談に対応 ④後見人候補者の推薦の調整【強化】 候補者の円滑な推薦調整を行えるよう、土業団体との連携を強化 （土業団体や関係機関の代表から構成される協議会を設置） ⑤親族後見人、市民後見人の支援【強化】 開催日を週 3 日から 5 日に増やし、市民からの相談に対応 必要に応じて土業による専門相談を実施 ⑥本人を中心とした支援体制の構築【強化】 関係課や関係機関との連携調整を主体的に行う職員を配置 ⑦その他、成年後見制度の利用促進に関すること